

バイオサイエンス学科 学会発表

【発表者について】アンダーラインは本学教員、研究員および技術職員、○は発表者、※は大学院生、卒研究生または卒業生

学会名	植物化学調節学会 第51回大会（2016年10月28-30日、高知大学、高知市）
演題名	微細藻類 <i>Euglena gracilis</i> の光ストレス応答におけるジャスモン酸の生理機能の解析
発表者	加藤翔太、高橋晃司※、渡邊陽太※、加瀬大地※、 <u>湯本絵美</u> 、 <u>横田孝雄</u> 、 <u>山根久和</u> 、 <u>篠村知子</u>
内容	<p>バイオ燃料の原料として注目されている微細藻類ユーグレナには植物ホルモンの一種であるジャスモン酸が存在することが報告されているが、その生理機能は明らかになっていない。ユーグレナの光ストレス応答におけるジャスモン酸の生理機能の解明を目指し、従属栄養または独立栄養条件で培養したユーグレナ細胞の内生ジャスモン酸レベルの経時変化や、培地へのジャスモン酸類の添加がユーグレナの増殖に及ぼす影響を解析した結果を発表した。</p> <p>本研究の一部は私立大学戦略的研究基盤形成支援事業「植物オキシリピンの生理機能の解明とその応用」、および科学研究費補助金(基盤研究C)の支援を受け、H28年度の本研究室の卒研究生や本学大学院に進学した大学院生や学内の研究者と共同で行った。</p>
関連画像	